

# 多彩な研究成果20題

## 高校、短大 70人参加 優秀賞6題を表彰

県北の高校生、短大生が日々の研究成果を披露する発表会「ポリテックビジョンinおおだて」が13日、大館市の秋田職業能力開発短期大学校で開かれた。9校から生徒や学生約70人が参加。社会課題解決や地域活性化に向けた研究内容、身に付けた技術を生かした工作などについて発表し合った。

地域の将来を担う人材の育成、教育交流などを狙いに2

013年度から毎年開催。職能短大が県北の全8高校に呼びかけ、参加者を募っている。工作を中心とする「ものづくり」と、身近な疑問を探究する「ことづくり」の2部門を設け、各3題の優秀賞を選定する。

職能短大の生産技術、電子情報技術、住居環境3学科の学生や、全8高校の生徒が参加。短大の総合制作実習や、高校の探究活動の成果をまとめた。

め、計20題を発表した。

鹿角高校の2年生6人は、小型無人機・ドローンに、クマが嫌がる辛味成分「カプサイシン」を入れた球を発射する装置を搭載し、カメラも組み合わせて狙いを定める撃退方法を提案。「熊スプレーは風の影響を受ける。ドローンを使うことで、近づくなくても安全に対処できる。AI（人工知能）にクマを学習させ、検出するプログラムを作ることが最終目標」と訴えた。



研究成果について発表する生徒（秋田職能短大）

職能短大生産技術科の2年生4人は、鉄道車両・青ガエルを模したミニ鉄道の製作について紹介。3D-CADやレーザー加工機、簡易曲げ加工機を用いて外装、フレーム作りを進めた。「青ガエルの丸みを表現するのが難しかった」などと述べた。

発表会に先立ち、職能短大の中村雅英校長が特別講演を行った。優秀賞は次の通り。

- ◇ものづくり部門
  - ▽大館市長賞 大館鳳鳴高校理数科情報班「日常の不便を減らそう！」
  - ▽北鹿新聞社賞 秋田職業能力開発短期大学校電子情報技術科「Three.jsを用いた3Dシミュレーション」
  - ▽秋田魁新報社賞 秋田北鷹高校生物資源科「花育Project」
  - ◇ことづくり部門
    - ▽大館市教育長賞 大館桂桜高校生活科学科「捨てない！資源有効活用術」桂桜SDGs part3」
    - ▽大館商工会議所会頭賞 大館鳳鳴高校普通科「スターバックス誘致計画」
    - ▽秋田職業能力開発短期大学校長賞 秋田北鷹高校緑地環境科「経験と勘をマニュアル化」